



第10回関東学生馬術男子競技大会 第63回関東学生馬術女子競技大会 令和7年度関東学生馬術協会会長杯争奪戦

2025年11月21日(金)～23日(日)

主催 関東学生馬術協会

於 JRA馬事公苑



上段左より

渡邊麻夏 選手 (明治大学)

池田誉 選手 (日本獣医生命科学大学)

下段左より

林虎太郎 選手 (日本大学)

船越琉生 選手 (明治大学)

【加盟大学一覧】



青山学院大学



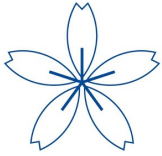
麻布大学



茨城大学



宇都宮大学



学習院大学



群馬大学



慶応義塾大学



慶応義塾大学
(医学部)



昭和医科大学



成蹊大学



成城大学



専修大学



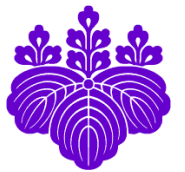
拓殖大学



千葉大学



中央大学



筑波大学



東海大学



東京大学



東京医科大学



東京農業大学



東京農工大学



日本大学



日本医科大学



日本獣医生命科学大学



法政大学



明治大学



立教大学



早稲田大学

第10回関東学生馬術男子競技大会
第63回関東学生馬術女子競技大会
令和7年度関東学生馬術協会会長杯争奪戦
ご挨拶



関東学生馬術協会
会長 諸岡 慶

令和7年度関東学生男子・女子自馬競技会の開催にあたり、
謹んでご挨拶申し上げます。

本競技会は、関東学生馬術協会の加盟各校において、日頃より馬術の研鑽に励む学生の皆さまに広く出場の機会を与えるものであり、レギュラー選手として活躍する者はもとより、運営の実務に携わる幹事、チームの陰で支援に尽力する部員、更には大学から馬術を志した新たな挑戦者たちにとっても、貴重な舞台となるものです。

もとより本大会は、長年にわたり女子選手の登竜門として開催されてきた、いわゆる「女子自馬」として親しまれてまいりました。平成三十年度より、男子選手の参加をも迎え入れ、三大大会への出場機会を得ていない選手にも広く門戸を開く大会とし、本大会の意義をいっそう高めております。

また、本年度も関東学生馬術協会のランキング対象競技としても位置づけられており、選手の皆さまにとっては、日々の鍛錬の成果を披瀝し、己の限界に挑む絶好の機会であります。どうか馬との信頼と調和をもって、自らの力を遺憾なく発揮されることを心より期待いたします。

あわせて、本大会の開催にあたり、多大なるご協力とご支援を賜りましたJRA馬事公苑の職員の皆さまをはじめ、大会役員並びに関係大学各位のご尽力に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

大会役員 (敬称大略・順不同)

大会会長
大会副会長
顧問

参与

大会委員長
競技運営委員長
幹事長
副幹事長
救護医
救護看護師
獣医師
装蹄師
馬場審判長
障害審判長
審判員

コースデザイナー
アシスタントコースデザイナー
チーフスチュワード
スチュワード

競技委員

ステーブルマネージャー
救護委員
記録委員

会計委員
総務委員
広報委員

渉外委員
放送委員
庶務委員

諸岡 慶
加藤 佐代子
小川 諒
橋本 茂
大濱 秀夫
酒葉 政行
龍 家圭
西山 慶太
山田 武
高松 萌子
矢下 有咲
梁 景太
深野 聡
岩崎 幸治
和田 雅雄
加藤 佐代子
深野 聡

小黒 友葉（麻布）
齊藤 未来夏（学習院）
櫻井 裕
武田 登与美
松本 真実
前田 圭太
山田 武
水田 貴
加藤 佐代子
恵澤 良子
山岸 達彦
嶽下 翔平
孕石 智司
斎藤 まとい
渡邊 太介（学習院）
瀬口 竜也（日本）
梅村 晏生（明治）
小林 昂嗣（青山学院）
浅井 恒輝（東京医科）
平松 直人
坂東 亜貴（明治）
齋藤 璃奈（東京）
瀧澤 香月（麻布）
中山 凜久（学習院）
木村 眞湊菜（立教）
山下 美怜（日本獣医生命科学）
小方 美咲（学習院）
廣瀬 創子（慶應義塾）
中山 凜久（学習院）

竹田 恒和
山内 英樹
大久保 公裕
大場 泰子
久保田 隆夫
阿部 和実
井上 敬一郎
野口 陽
佐藤 五志
伊藤 慎太郎
塚本 浩一
小川 登美夫

長谷 穂乃佳（法政）
古川 一博

木村 有日子
富田 雄大

小林 昂嗣（青山学院）
山中 智裕（東京）
中山 颯慈（早稲田）
永田 優斗（中央）
瀧澤 香月（麻布）
木戸 悠太（慶應義塾）
三浦 寧子（東京）
伊澤 心春（法政）

西田 歩夢（日本）

鈴木 梨々菜（拓殖）

長谷 穂乃佳（法政）
伊藤 花音（青山学院）
若林 はな（青山学院）

長友 満則

木村 至
伊藤 督倫
伊藤 剛二
大藪 俊介
白井 昭
土橋 武雄
水田 貴
加藤 佐代子
松田 潔

浅野 順子
中山 颯慈（早稲田）

野口 耕祐（青山学院）
遠藤 真奈（東京農工）
武元 里澄（中央）

渡邊 湊太（東海）
稲葉 千穂（東京農業）

青木 睦歩（早稲田）

山海 真凜（慶應義塾）

越賀 桜子（東京農業）
宮下 珠紀（慶應義塾）
藤樫 夢來（専修）

第10回関東学生馬術男子競技大会
第63回関東学生馬術女子競技大会
令和7年度関東学生馬術協会会長杯争奪戦
実施要項

1. 主催 関東学生馬術協会

2. 期日 令和7年11月21日(金)～11月23日(日)

3. 場所 JRA馬事公苑

4. 競技日程

11月21日(金)	入厩日 馬場ファミリーライゼーション
11月22日(土)	男子馬場馬術競技 女子馬場馬術競技 会長杯JEF馬場馬術競技第2課目B
11月23日(日)	フレンドシップ競技 男子障害馬術競技 女子障害馬術競技 会長杯小障害A飛越競技 会長杯小障害C飛越競技

5. 関東学生馬術男子競技大会及び関東学生馬術女子競技大会の要項は次の通りとする。

(1) 競技種目

- A) 障害馬術競技
- B) 馬場馬術競技

(2) 参加資格

A) 両競技種目共通

- イ) 人馬の参加資格は、関東規程第4条第1項(1)号及び(4)号の条件を満たさなければならない。また、選手については全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級、または日本馬術連盟騎乗者資格 B 級以上を取得していること。(馬場馬術競技においては馬場限定可)
- ロ) 馬匹は令和7年4月30日までに関東学生馬術協会に登録された馬であること。
- ハ) 選手は、男女それぞれの競技大会にしか出場することができない。
- ニ) 選手はエントリー完了までに関東学生馬術協会に登録されたものとする。

B) 障害馬術競技

- イ) 各校最大5人5頭までの出場とする。
- ロ) 選手、馬匹ともに一回のみの出場とする。
- ハ) 過去に関東学生ならびに全日本学生賞典障害馬術・総合馬術競技大会に出場した同一人馬では出場することができない。

C) 馬場馬術競技

- イ) 各校最大4人4頭までの出場とする。
- ロ) 選手、馬匹ともに一回のみの出場とする。
- ハ) 過去に関東学生ならびに全日本学生賞典馬場馬術・総合馬術競技大会に出場した同一人馬では出場することができない。

(3) 競技規程

A) 障害馬術競技

- イ) JEF 競技会規程を適用する。
- ロ) 採点は、JEF 競技会規程第238条2.2基準Aに基づく採点方法を採用する。
- ハ) 障害物は高さ1.10m、幅1.30m以下、障害物は12個以内とし、分速は350mとする。
- ニ) チームとして参加した選手が失権となった場合、減点500点とする。

B) 馬場馬術競技

- イ) JEF 競技会規程を適用する。
- ロ) 運動課目は「JEF 馬場馬術競技第3課目A」を課す。
- ハ) チームとして参加した選手が失権となった場合、得点は0とする。

(4) 順位決定方法

A) 障害馬術競技

イ) 団体順位は、各チームの上位3名の総減点の少ないチームを上位とする。同点の場合は、上位3名の走行時間を合計した総走行時間の少ないチームを上位とする。

ロ) 個人順位は、減点の少ない者を上位とする。ジャンプオフは基準Aに従う。

B) 馬場馬術競技

イ) 団体順位は、各チームの上位3名の総得点率の高いチームを上位とする。同得点率の場合は、各チームの第3位の者の総得点率の高いチームを上位とする。

ロ) 個人順位は、得点率の高い者を上位とする。さらに同点の場合は審判員らが出した得点率の中央値を比較し、これが最も高い順に順位を決定する。さらに同得点率の場合は、同順位とする。

C) 団体総合（男子障害・馬場、女子障害・馬場）

イ) 別表1-(3)に従い、各チーム各種目の上位最大3名の獲得ポイントを計算し、4種目（男子障害・馬場、女子障害・馬場）の合計ポイントの高いチームを上位とする。同点の場合は同順位とする。ただし、合計ポイントについては以下 i、ii に基づき決定される。

- i. 男女の障害馬術競技及び馬場馬術競技の4種目でポイントを得ていることを条件とする。
- ii. 障害馬術競技/馬場馬術競技に関しては、当該種目または総合馬術の関東学生賞典競技または全日本学生賞典競技に出場した選手には、ポイントが与えられないものとする。ポイントが与えられない選手のポイントは次の順位の選手に繰り下げず、団体上位3名にカウントされた場合、当該選手のポイントは0とし、団体内4位以下の選手のポイントをカウントすることもしない。

(5) 表彰及びランキングポイント

A) 両競技種目共通

イ) 団体は3位までを表彰対象とする。

ロ) 個人は出場頭数の1/4までを入賞とし、表彰対象は6位までとする。

ハ) 別表1-(3)に従い、出場人馬にランキングポイントを与える。

ニ) 団体総合（男子障害・馬場、女子障害・馬場の4種目）は3位までを表彰する。

6. 関東学生馬術協会会長杯争奪戦の要項は次の通りとする。

(1) 競技種目

- A) 小障害C飛越競技（以下小障害Cと略す）
- B) 小障害A飛越競技（以下小障害Aと略す）
- C) JEF馬場馬術競技第2課目B（以下第2課目Bと略す）

(2) 参加資格

A) 全競技共通

- イ) 選手はエントリー締切日までに関東規程第4条第1項(1)号及び(4)号の条件を満たさなければならない。
- ロ) エントリーは各大学、各競技最大5人馬までとする。同日、同一人馬での出場は1回までとする。
- ハ) オープン参加を認めるが、タイムテーブル上、出場頭数を制限する場合がある。なお、出番は該当競技の最後とする。
- ニ) 馬匹・選手はエントリー完了までに関東学生馬術協会に登録されたものとする。

B) 小障害C、A共通

- イ) 過去に関東学生賞典障害馬術競技大会、関東学生賞典総合馬術競技大会、全日本学生賞典障害馬術競技及び全日本学生賞典総合馬術競技に出場したことのある者は参加できない。
- ロ) 男子障害馬術競技大会、女子障害馬術競技大会に出場した同一人馬は出場できない。

C) 第2課目B

- イ) 過去に関東学生賞典馬場馬術競技大会、関東学生賞典総合馬術競技大会、全日本学生賞典馬場馬術競技及び全日本学生賞典総合馬術競技に出場したことのある者は参加できない。
- ロ) 男子馬場馬術競技大会、女子馬場馬術競技大会に出場した同一人馬は出場できない。

(3) 競技規程

A) 小障害C、A共通

- イ) JEF競技会規程を適用する。
- ロ) 採点は、JEF競技会規程第238条2.1基準Aに基づく採点方法を採用する。

B) 小障害C

- イ) 障害物の基準は、JEF競技会規程の小障害Cを適用する。

C) 小障害A

- イ) 障害物の基準は、JEF競技会規程の小障害Aを適用する。

D) 第2課目B

- イ) 運動課目は「JEF馬場馬術競技第2課目B」を課す。なお、使用可能補助具は長鞭、ネックストレッチ、折り返し手綱、マルタン類のみとする。

(4) 順位決定方法

A) 小障害C、A共通

- イ) JEF競技会規程第238条基準Aに基づく採点方法に従う。

B) 第2課目B

- イ) JEF競技会規程に従い、順位を決定する。

(5) 表彰

A) 全競技共通

- イ) 出場頭数の1/4までを入賞とする。表彰対象は6位までとする。

(6) 参加料

A) 全競技共通

- イ) 競技運営費として、1出場あたり3,000円の参加料を徴収する。

- ロ) 競技開始後の棄権も受け付けるが、参加料は徴収する。

7. フレンドシップ競技の実施要項は、次の通りとする。

(1) 競技種目

A) 70~85cmクラス

B) 90~105cmクラス

(2) 参加資格

- A) 騎乗者の所属等は制限しない。

(3) エントリー等

- A) エントリー数が多い場合はエントリー制限を行う場合がある。

- B) 参加料は1鞍2,000円とする。

- C) エントリーは1頭あたり合計2走行までとする。

- D) 競技開始後の棄権も受け付けるが、参加料は徴収する。

- E) フレンドシップ競技の当日の追加は、各馬1回のみとする。

- F) スタート許可のベルが鳴ってから、80秒以内に走行を完了すること。

8. エントリー方法

省略

9. 馬の入退厩等（JRA 馬事公苑）

- (1) 入厩は、令和 7 年 11 月 21 日(金)6 時からとする。
- (2) 上記の時間に入厩できない団体は、必ず当協会幹事長小黑まで事前に連絡すること。
入厩後は速やかに健康手帳を大会本部へ提出して入厩審査を受けること。入厩審査が完了するまでは馬匹を馬房から出してはならない。入厩審査後、大会本部にて受け取っていない馬番を受け取ること。
- (3) 退厩は、厩舎清掃後、当協会ステーブルマネージャーのチェック後に行うこと。
- (4) 入退厩時は、車両はすべて正門から入退厩すること。9:00~17:00 の開苑中は原則入出苑できないが、やむを得ず入出苑する場合は、必ず大会本部に申し出、先導を付けること。**

10. 打ち合わせ会

- (1) 各競技前日の全競技終了後に対面で行う。
- (2) 各競技の最終決定事項を知らせるので出場大学は必ず出席すること。欠席した場合は棄権とみなす。また、遅刻した場合は罰金を科することがある。
- (3) 全ての変更等は、打ち合わせ会で決定したことが最優先される。

11. その他

- (1) 施設の利用に関しては、施設利用心得を厳守すること。
- (2) 苑内での火器の使用及び喫煙は一切禁止とする。
- (3) 馬糧は各自にて持参すること。事前搬入については入厩日前日の 13:00~17:00 のみ可とする。事前搬入する場合は一週間前までに当協会幹事長に連絡すること。退厩の際すべて持ち帰ること。敷料については、おが粉とし、会場で用意する。また厩舎及び周辺を清掃し、ごみ等を一切残さないこと。
- (4) 馬を取り扱うときは、選手、馬付きに関わらず、必ず 3 点固定式ヘルメットと手袋を着用すること。
- (5) 期間中の人馬の事故等に対しては、大会役員への連絡をもって応急処置を行うが、その責任は負わない。競技期間は救護医、獣医師、装蹄師が待機する。
- (6) 競技場、もしくは練習場において落馬があった場合、騎乗者は、選手であるかどうか、落馬した状況の如何にかかわらず、救護メディカルスタッフ（医師、救護師、救急救

命士いずれか) のメディカルチェックを受け、馬匹は大会獣医、審判団、もしくは STW の外傷チェックを受ける(関東学生馬術協会主催競技におけるローカルルール)。両方からの再騎乗の許可がなければ再騎乗することは許されない。許可を得ずに再騎乗した場合は、それ以降の競技の出場を認めないなどのペナルティを課すことがある。(全日程適用)

- (7) 障害を飛越する際にはエアバッグガードとバッグガードの両方、または片方の着用を義務付ける。
- (8) ホースマネージャー棟については主将主務ラインにて使用希望を個人名含めて集める。利用者が変更する場合は、一週間前までに申し出ること。各団体綺麗に使用し、退出時は清掃すること。使用料として 1 床 1,705 円請求する。
- (9) 曳馬中、運動中は馬付きを伴って行動し、ボロは必ず各校で拾うこと。これに違反した場合は罰金を科することがある。
- (10) 大会及び施設利用に関する問い合わせは当協会へ行うこと。馬事公苑事務所への直接問い合わせはお断りします。

別表 1-(3) 関東学生馬術女子競技大会、関東学生馬術男子競技大会ランキングポイント
(人馬共通)

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	50	16	22.5	31	9
2	45	17	21	32	8.5
3	42.5	18	19.5	33	8
4	40.5	19	18	34	7.5
5	39	20	17	35	7
6	37.5	21	16	36	6.5
7	36	22	15	37	6
8	34.5	23	14	38	5.5
9	33	24	13	39	5
10	31.5	25	12	以下	別掲
11	30	26	11.5		
12	28.5	27	11		
13	27	28	10.5		
14	25.5	29	10		
15	24	30	9.5		

別掲：障害 完走 2.5 参加 1

馬場 参加 1 ※45%未満または 40 位以下の者を対象

過去成績

女子馬場馬術競技

回数	年度	優勝	第2位	第3位	個人優勝
第1回	昭和38年	不明			
：	：				
第5回	昭和42年	中止			
第6回	昭和43年	不明			
：	：				
第16回	昭和53年	麻布	日本	立教	川崎 芳子（青山学院）
第17回	昭和54年	日本	学習院	青山学院	川崎 芳子（青山学院）
第18回	昭和55年	日本	中央	東京農工	坂田 静代（日本）
第19回	昭和56年	立教	中央	日本	堀切 良子（専修）
第20回	昭和57年	青山学院	日本	学習院	黒沢 智子（日本）
第21回	昭和58年	日本	明治	中央	中村 公子（日本）
第22回	昭和59年	日本	青山学院	専修	小山 香（日本）
第23回	昭和60年	慶応義塾	日本	青山学院	浅沼 菜穂美（日本）
第24回	昭和61年	青山学院	慶応義塾	麻布	浅沼 菜穂美（日本）
第25回	昭和62年	慶応義塾	日本	青山学院	浅沼 菜穂美（日本）
第26回	昭和63年	日本	麻布	青山学院	岡部 久仁子（日本）
第27回	平成元年	青山学院	学習院	麻布	村上 陽子（青山学院）
第28回	平成2年	学習院	日本	青山学院	三輪 咲子（法政）
第 29 回	平成 3 年	日本	慶応義塾	青山学院	小島 亜矢(日本)
第 30 回	平成 4 年	日本	慶応義塾	早稲田	小島 亜矢(日本)
第 31 回	平成 5 年	日本	青山学院	専修	余湖 桂(日本)
第 32 回	平成 6 年	青山学院	日本	専修	佐藤 恵子(青山学院)
第 33 回	平成 7 年	中央	日本	明治	五十嵐 正子(明治)
第 34 回	平成 8 年	青山学院	学習院	成城	川崎 彰子(青山学院)
第 35 回	平成 9 年	日本	青山学院	成城	後上 多恵子(日本)
第 36 回	平成 10 年	日本	東京農業	立教	後上 多恵子(日本)
第 37 回	平成 11 年	日本	専修	慶応義塾	金坂 邦子(日本)
第 38 回	平成 12 年	日本獣医畜産	日本	専修	間宮 幸子(日本)
第 39 回	平成 13 年	日本	日本獣医畜産	慶応義塾	間宮 幸子(日本)
第 40 回	平成 14 年	日本	日本獣医畜産	学習院	堀内 千尋(日本獣医畜産)
第 41 回	平成 15 年	日本	東京農業	青山学院	井上 遥(日本)
第 42 回	平成 16 年	東京農業	日本獣医畜産	明治	福永 菜摘(日本)
第 43 回	平成 17 年	明治	東京農業	日本獣医畜産	安保 静奈(青山学院)
第 44 回	平成 18 年	東京農業	日本	青山学院	大田 芳栄(東京農業)
第 45 回	平成 19 年	日本	専修	早稲田	靄林 舞(専修)
第 46 回	平成 20 年	専修	早稲田	中央	石坂 さおり(東京農工)
第 47 回	平成 21 年	東京農業	日本	東京農業	石坂 さおり(東京農工)
第 48 回	平成 22 年	日本	日本獣医生命科学	成城	飯間 彩花(日本)
第 49 回	平成 23 年	日本	学習院	早稲田	的場 唯(専修)
第 50 回	平成 24 年	日本	慶応義塾	麻布	安芸 知世(慶応義塾)
第 51 回	平成 25 年	日本	東京農業	青山学院	竹内 千夏(日本)
第 52 回	平成 26 年	明治	日本	法政	早稲田 和歌子(明治)

第 53 回	平成 27 年	日本	明治	学習院	早稲田 和歌子(明治)
第 54 回	平成 28 年	日本	明治	専修	柿平 紗枝(日本)
第 55 回	平成 29 年	日本	慶応義塾	専修	井上 永久(日本)
第 56 回	平成 30 年	日本	専修	慶応義塾	井佐 あかり(専修)
第 57 回	令和元年	日本	麻布	立教	野々垣 菜鈴(日本)
第 58 回	令和 2 年	日本	日本獣医生命科学	東京農業	原田 美和(日本)
第 59 回	令和 3 年	日本	専修	早稲田	越後 りの(日本)
第 60 回	令和 4 年	日本	学習院	明治	越後 りの(日本)
第 61 回	令和 5 年	日本	学習院	日本獣医生命科学	奥田 記枝(日本)
第 62 回	令和 6 年	明治	日本	日本獣医生命科学	渡邊 麻夏(明治)

女子障害馬術競技

回数	年度	優勝	第2位	第3位	個人優勝
第1回	昭和38年	不明			
：	：				
第5回	昭和42年	中止			
第6回	昭和43年	不明			
：	：				
第16回	昭和53年	麻布	日本	立教	野口 薫（麻布）
第17回	昭和54年	日本	学習院	青山学院	川崎 芳子（青山学院）
第18回	昭和55年	日本	中央	東京農工	前島 裕子（日本）
第19回	昭和56年	立教	中央	日本	熊倉 千賀子（立教）
第20回	昭和57年	青山学院	日本	学習院	松本 美紀（青山学院）
第21回	昭和58年	日本	明治	中央	井上 真紀（慶応義塾）
第22回	昭和59年	日本	青山学院	専修	面 雅子（慶応義塾）
第23回	昭和60年	慶応義塾	日本	青山学院	飯塚 久美子（東京農業）
第24回	昭和61年	青山学院	慶応義塾	麻布	富田 美幸（専修）
第25回	昭和62年	慶応義塾	日本	青山学院	塚田 由香（日本）
第26回	昭和63年	日本	麻布	青山学院	今明 美佳（麻布）
第27回	平成元年	青山学院	学習院	麻布	磯村 桂美（専修）
第28回	平成2年	学習院	日本	青山学院	中村 真紀（中央）
第 29 回	平成 3 年	立教	専修	日本	石垣 晶子(中央)
第 30 回	平成 4 年	青山学院	日本	専修	藤森 香織(青山学院)
第 31 回	平成 5 年	青山学院	日本	早稲田	小島 亜矢(日本)
第 32 回	平成 6 年	専修	日本	東京農工	五十嵐 正子(明治)
第 33 回	平成 7 年	早稲田	青山学院	日本	松岡 智子(青山学院)
第 34 回	平成 8 年	日本	東京農業	早稲田	仲内 おりえ(青山学院)
第 35 回	平成 9 年	学習院	日本	東京農業	内山 順子(明治)
第 36 回	平成 10 年	東京農業	日本	学習院	堺 由貴子(専修)

第 37 回	平成 11 年	日本	東京農業	専修	天羽 美穂(専修)
第 38 回	平成 12 年	学習院	日本	専修	古平 亜美(法政)
第 39 回	平成 13 年	日本	日本	青山学院	児玉 聖光(日本)
第 40 回	平成 14 年	東京農業	青山学院	日本	井村 咲絵(早稲田)
第 41 回	平成 15 年	日本	東京農業	青山学院	中村 恭代(東京農業)
第 42 回	平成 16 年	東京農業	青山学院	日本	大田 芳栄(東京農業)
第 43 回	平成 17 年	日本	東京農業	明治	斎藤 絵里奈(東京農業)
第 44 回	平成 18 年	明治	日本	東京農業	田中 志奈(東海)
第 45 回	平成 19 年	日本	東京農業	専修	佐藤 泰(早稲田)
第 46 回	平成 20 年	日本	東京農業	日本獣医生命科学	飯間 彩花(日本)
第 47 回	平成 21 年	日本	東京農業	日本獣医生命科学	天谷 幸枝(日本)
第 48 回	平成 22 年	日本	立教	専修	木林 里乃(青山学院)
第 49 回	平成 23 年	日本	学習院	立教	柳原 由香里(東京農業)
第 50 回	平成 24 年	立教	日本	東京農業	白井 美友紀(早稲田)
第 51 回	平成 25 年	日本	立教	日本獣医生命科学	森 彩香(日本)
第 52 回	平成 26 年	日本	東京農業	立教	日高 萌(法政)
第 53 回	平成 27 年	日本	東京農業	明治	武道 芙祐(明治)
第 54 回	平成 28 年	日本	専修	明治	細川 映里香(日本)
第 55 回	平成 29 年	日本	専修	慶応義塾	藤岡 彩美(日本)
第 56 回	平成 30 年	日本	専修	慶応義塾	近藤 舞宝(専修)
第 57 回	令和元年	日本	東京農業	麻布	阿部 紫音(慶応義塾)
第 58 回	令和 2 年	日本	中央	慶応義塾	石井 李桂(明治)
第 59 回	令和 3 年	日本	専修	東京農業	堀坂 七菜子(日本)
第 60 回	令和 4 年	日本	東京農業	東京農工	藤田 華暖(日本)
第 61 回	令和 5 年	東京農工	日本	東京農業	鈴木 美咲(日本)
第 62 回	令和 6 年	日本	中央	慶應義塾	池田 誉(日本獣医生命科学)

男子馬場馬術競技

回数	年度	優勝	二位	三位	個人優勝
第 1 回	平成 28 年	日本	東京農業	明治	吉岡 堯祐(日本)
第 2 回	平成 29 年	日本	明治	慶応義塾	古野 博人(日本)
第 3 回	平成 30 年	日本	慶応義塾	学習院	谷津 友嵩(日本)
第 4 回	令和元年	日本	専修	東京農業	鈴木 一生(日本)
第 5 回	令和 2 年	日本	日本獣医生命科学	専修	山崎 魅人(日本)
第 6 回	令和 3 年	日本	学習院	東京農業	大池 駿和(日本)
第 7 回	令和 4 年	日本	東京農業	学習院	大池 駿和(日本)
第 8 回	令和 5 年	学習院	日本	東京農業	砂川 成弘(日本)
第 9 回	令和 6 年	明治	日本	学習院	船越 琉生(明治)

男子障害馬術競技

回数	年度	優勝	二位	三位	個人優勝
第 1 回	平成 28 年	日本	東京農業	専修	磯野 太(日本)
第 2 回	平成 29 年	日本	専修	東京農業	泉 朋樹(東京農業)
第 3 回	平成 30 年	日本	専修	慶応義塾	杉本 端生(立教)
第 4 回	令和元年	日本	専修	東京農業	丹治 翔(専修)
第 5 回	令和 2 年	日本	東京農工	東京農業	鷹見 優(日本)
第 6 回	令和 3 年	日本	東京農業	中央	山田 翔太(明治)
第 7 回	令和 4 年	日本	東京農業	中央	大久保 拓磨(中央)
第 8 回	令和 5 年	日本	東京農業	専修	西 悠太(日本)
第 9 回	令和 6 年	日本	慶應義塾	一	林 虎太郎(日本)

馬術観戦のマナーに関するお願い

馬術はオリンピック種目の中で唯一動物と共に行う競技として知られますが、その特殊性を持つために観戦に際して馬の習性への理解と配慮が大切です。関東学生馬術協会ではご来場いただいた皆様に馬術観戦を楽しんでいただくとともに、出場する人馬への安全とセキュリティの確保を行いながら大会と一緒に盛り上げていくための観戦ルール作りを行いました。

【観戦に関するご注意】

- ・走ったり大きな声を出さないでください。
- ・お子様の行動には十分にご注意ください。
- ・観客席やラチ（柵）の外側からのご観戦・撮影をお願いします。
厩舎地区や待機馬場を含むアリーナへの立ち入りはできません。
- ・競技中は静かに見守り、走行・演技終了後には温かい拍手をお送りください。
- ・競技中の馬場付近でのご移動はご遠慮ください。
- ・馬が近くにいるときの雨傘、日傘の使用、特に傘の開閉動作にご注意ください。
- ・総合馬術のクロスカンントリー競技をご観戦の際は、競技開始 10 分前までに競技エリにお入りいただき、経路と被らない位置での観戦をお願いします。なるべく関係者が多くいる場所を選ぶようにしてください。
- ・競技の合間に行う散水にご注意ください。風向きによっては予期せぬ方向に飛散する恐れがあります。

【撮影に関するご注意】

- ・報道関係者の方は事前に申請をお願いします。大会が認めた場合を除き営利目的での撮影は固くお断りします。
- ・競技の撮影は可能です。観客席やラチ（柵）の外側からとし、他のお客様の観戦の妨げにならないようご配慮ください。
- ・競技中・演技中に立つ・座るなどの動作のほか、場所の移動はご遠慮ください。
- ・フラッシュを用いた撮影はできません。
- ・撮影時に傘の使用はできません。ご来場前にレインコート等をご準備ください。
- ・厩舎、馬場内への立ち入っての撮影はできません。
- ・SNSでの使用はできますが、大会や選手、馬匹、関係者に社会的評価を損なわせる恐れのある撮影や投稿は固くお断りします。また、選手の個人情報（主催者発表の情報を除く）に触れることがないようにお願いします。

【その他】

- ・盗撮が疑われるような行為を見かけた場合は大会本部までご連絡ください。
- ・写真や動画の撮影、投稿、その他関東学生馬術協会が定める諸規定やその他注意・禁止事項に反する行為により発生したトラブルや事故について、関東学生馬術協会は一切の責任を負いません。

学生割引 20%OFF

学生証をご提示ください

※一部対象外商品ございます



NET STORE



LINE



OFFICIALHORSY

日本馬事普及 SHOW ROOM
東京都世田谷区桜3-13-9 パセー才馬事公苑 1F
TEL : 03-5451-7311



ミニチュアホース買付/生産/販売
イベント出張/馬雑貨移動販売

ミニチュアホースのお仕事のご依頼は ファラベラファームまで

falabellafarm.co@gmail.com



出張場所の例

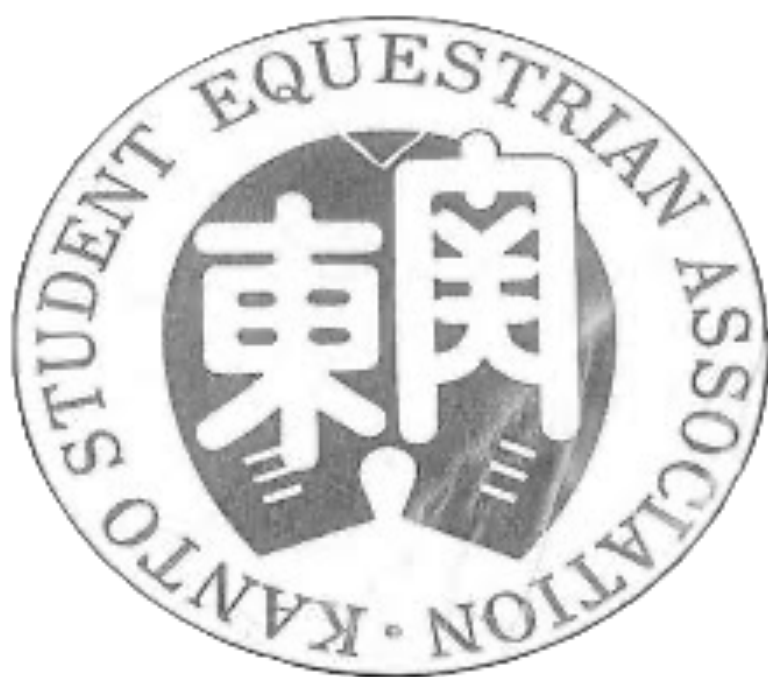
保育園、幼稚園、福祉施設、老人ホーム、
住宅展示場、お祭り、イベント

お仕事内容の例

ふれあい、ブラシ、餌やり、お散歩体験/
記念撮影/お祭りのパレードや行列/
サンプル配布やお花売り/

ONLINE STORE
YOUTUBE・SNS ⇩





〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16
馬事畜産会館405号室 関東学生馬術協会